

### 第33回 吹田市立図書館協議会（会議録要録）

平成23年9月14日（水）

午後2時～4時

中央図書館3階 第2集会室

出席者

委員）坂本委員、末岡委員、正置委員、渡邊委員、太田委員、篠田委員

事務局）小池地域教育部次長、竹村中央図書館長、竹村参事、金森千里図書館長、宮東さんくす図書館長、櫻井江坂図書館長、長島千里山・佐井寺（ちさと）図書館長、西尾山田駅前図書館長

傍聴者：なし

#### 第33回 図書館協議会次第

##### 1.新委員紹介

##### 2.平成23年（2011年）版吹田市の図書館活動—平成22年度（2010年度）統計—

##### 3.今後の図書館施設整備やサービス展開の方向性について

##### 4.その他

- ・（仮称）千里丘図書館整備事業について
- ・平成23年（2011年）図書館利用アンケート（満足度調査）について
- ・次回日程について
- ・その他

議長）ただ今から第33回吹田市立図書館協議会を開催いたします。本日も午後4時までの予定ですので、よろしくお祈いします。

事務局にお尋ねいたしますが、傍聴者の方はおられますか。

事務局）ございません。

議長）それでは、会議次第に従って議事を進行していきたいと存じます。事務局より配布資料の確認と人事異動の紹介をお願いします。

事務局）《配布資料の確認と、出席状況の報告》

議長）それでは次第の1 新委員紹介 を事務局をお願いします。

#### 1 新委員紹介

事務局）《新委員の紹介》 …略…

#### 2 平成23年（2011年）度版吹田市の図書館活動—平成22年度（2010年度）統計

一について

議 長) 次に、平成23年(2011年)度版吹田市の図書館活動に移りたいと思います。  
事務局のほうから説明をお願いします。

事務局) 蔵書冊数につきましては平成22年度末で約82万冊となり、前年度から8万冊、割合にして10.8%の増加です。年度途中開館の山田駅前分で約5万冊増えました。AV資料は50,224点となり、前年度比で7,439点、割合にして17.3%増加しました。その内山田駅前分が7,038点増加しました。貸出点数は図書・AV合わせて258万点となりました。前年度比25万1千点、10.8%増加増加しました。市民1人当たり貸出点数は7.22点となります。増加の原因としては毎日開館実施によるものと考えます。登録者数は107,872人で、前年度比1.6%減少しました。一度でも図書館利用した利用者数は60,659人。前年度比0.9%減少しました。予約受付点数は544,363件で、対前年度比1.8%増となり、増加傾向が鈍化した印象がございました。

議 長) 報告について、何かご意見ご質問はございますか。

委 員) 山田駅前の1日平均貸出数が3,400点で、他館の倍近い。図書館機構図によると、山田駅前の人員数が出ているが、人数が少ないのに貸出が非常に多い。駅前の職員の負担はどうなのか、不足していないか。

事務局) 窓口業務の委託をしており、貸出返却などは委託職員が行います。人員表には委託職員の人数は含まれておりません。3月は開館したばかりで、新しい資料を求めて大勢来館されたのも影響しています。開館後の状況は、4月は1日平均1,830点、8月は1,651点の貸出で、今はだいぶ落ち着いてきております。

委 員) 登録者数はカードを持っている人、利用者数は図書館を利用した人と理解してよいか。本年度はどちらも減っているということになるが、新しい図書館がオープンしたにもかかわらず減っているという事になるが、どう考えているか。

事務局) 山田駅前図書館の開館は、昨年度は4日間のみで、登録者数が649人。新規登録者は4月が1,454人、5月は584人と順調に増えています。

事務局) 補足しますと、現山田分室が1月から3月の間、リニューアルの工事のため休館していた分の減少もあります。

委 員) 平成23年度に期待したい。

議 長) 利用者登録に関しては、過去3年間分ぐらいをみると減少傾向なので、新たな図書館を作って、サービスに努めて、新規利用者を開拓していく機会だと思う。

事務局) 貸出点数は増えていますが、登録者数が減っています。ヘビーユーザーが増えているということかと思いますが、新たな開拓は努力すべき項目だと考えます。

議 長) 事務局におたずねします。その他、補足説明はございませんか。

事務局) ホームページのアクセス件数で蔵書検索の件数が大きく増加しています。理由

としては、トップページに資料検索窓口を設けたことによるものと考えています。

委員) ブックスタートの本の配布割合が 74.6%と低い。保健所での集団検診の場を利用している自治体では 9 割を超えている。せっかくいい活動をしているのに、もったいない。配布割合をあげる工夫をしてほしい。

事務局) 他市で健診場所に出向いて渡しているところなどは、配布割合は高くなっています。吹田は配布割合は低いかもしれませんが、ご承知のように、図書館に来ていただいて読書につなげていくということをしております。これまで、健診のチラシにブックスタートの宣伝を入れていたが、目に留まらないこともあるので、母子健康手帳にブックスタートについて 1 ページ載せてもらっており、必ずお母さんの目に留まるようにしています。

委員) 努力が足りないということではないが、何か方法がないかと考えている。図書館に来てもらうのは良いことだと思います。

事務局) 病院へのポスター掲示なども検討を進めています。少しずつでも向上させたいと思っています。

議長) 単に本を配るのでなく、図書館に来てもらうしかけづくりのアイデアがあると良い。

委員) ホームページでの図書検索は 1 人が複数回検索しても数が増えるということか。

事務局) 1 冊検索されるごとにカウントアップされます。

委員) 北摂 3 市との相互協力について、利用者の満足度はどうか。

事務局) 統計に載っているのは、利用者の方から予約を受けて、吹田市で所蔵がない場合に、よその図書館から借りて提供している相互貸借の数字です。昨年度あたりは大きく増加しており、利用者のニーズが広がっているということだと思います。吹田に所蔵がなくても、ご提供できているという点では、満足していただいているかと思います。

事務局) この統計にのっているものと、今年度から始めた豊中市との相互利用とは別のサービスですので、担当者から報告してもらいます。

事務局) 相互利用は 4 月から登録を受け付け、5 月から開始しました。豊中市立千里図書館での吹田市民の借出数が圧倒的に多く、北千里地域の方などに利用していただいているものと思います。利用は順調に伸びていると思います。

議長) 全体に見ると、借り受けの方が多い。裏を返せば、蔵書が少ないということかと思うが。

事務局) この 20 年位の資料費は、豊中市の方が吹田市よりはるかに多く、現在までの間、豊中市立図書館では豊富な資料費で、幅広く購入されていました。吹田では買えなかった資料を所蔵しておられるものと考えています。

議長) だからこそ相互連携して、市民の満足のために協力することが大切。

- 委員)きちんと利用者の求める資料を取り寄せて提供している。ないものを、ないといっって終わらせずに対応している点を評価したい。
- 委員)「もうよんだかなセット」について。小学校でも名前が挙がっていないところもあるが、どのようなシステムか。先生方の要望があれば貸し出すのか。学校によって貸出冊数がずいぶん違うが。
- 事務局)案内をさし上げて、ご希望の学校に貸出しています。その差かと思います。全学級分をこちらでそろえて貸出できれば、もっと数字は増えるだろうが、手持ちのもので貸し出しています。今後、充実させていくべき点だと考えています。
- 委員)視聴覚資料は今、4館で購入しており、駅前が開館ということで多数購入しているが、決算額は次年度からはどうなるか。
- 事務局)基本的には全館で約600万円を均等に予算配分する形になると思われます。
- 委員)DVDの予約もするが、同じタイトルのものが複数の図書館にあるなど、所蔵に偏りがあるのではないか。
- 事務局)なるべく複本をさけて、種類を増やせるよう、全館で調整するようにしていくつもりです。
- 委員)ブックスタートについて詳しく聞きたい。
- 事務局)母子健康手帳にブックスタートの案内があり、どこの図書館でも母子健康手帳を持参すれば、5冊の絵本から好きな本を1冊選んでいただけます。
- 委員)良い取り組みだと思う。
- 事務局)受け取りに来られた時にゆっくり説明もできるし、要望も聞ける。対人サービスとして有効だと考えています。
- 事務局)お母さんがお子さんと一緒に直接図書館に来ていただき、その後もブックスタートのひろば、抱っこで絵本やおひざで絵本など、2,3歳になっても、どんどんつないでいく取り組みをしています。そういう点では、子育て支援としても、貢献しているものと考えます。
- 委員)同じように、お年寄りとも良い関係ができるような取り組みがあれば良いのだが。

### 3 今後の図書館施設整備やサービス展開の方向性について

- 議長)各委員それぞれの立場から図書館への要望や意見を出していただいているところ。ひとつの議論の手がかりとして、講演「成長する公共図書館：デジタル社会と吹田市立図書館を考える」の内容を、渡邊から手短かに説明をさせていただき、皆さんで議論していただきたい。2000年以降の図書館を取り巻く情勢は、情報化社会に対応する新たな図書館像の模索の流れ。その頃吹田市立図書館では、図書館協議会から答申が出されて、変革の流れが始まった。例を示せば、奈良県立図書館では地元観光ホテルとのタイアップで、市民だけでなく旅行者にも情報提供を始めたり、司書が情報収集して本を出したりしている。文科省

の図書館海援隊プロジェクトでは、貧困や失業などの社会問題を解決するため、あるいは医療、福祉、法律などに必要な情報を提供することを始めている。図書館は新たな次元にステップアップしている事を認識してほしい。図書館法第2条および3条に図書館の機能が定義されている。学問的には「図書館は成長する有機体」。図書館は社会変化に素早く対応するものでなくてはならない。また、一方ではサービス向上にテクノロジーを活用し、常に新しい技術を取り入れてサービスにつなげていく事が提唱されています。より良い図書館のために、現在までのサービスを補う形で、各種の情報技術、インターネットを活用してサービスを充実させていくことが重要。具体的には、ツイッター、ユーチューブ、ユーストリーム、フェイスブック、ブクログなど、個人の情報発信が伝播していくサービスを使う。図書館で活用すると、ツイッターなら図書館イベントの告知やPRが簡単にできるし、ユーチューブで遠方の人にも講座を配信することが可能。少ないマンパワー・資金で今までできていなかったサービスができるようになるのではないか。もうひとつの動きは、図書館の電子化。堺市立図書館では電子図書館のサービス提供が始まっている。内容はまだ充実しているとは言えないが、電子書籍の動向は無視できない。図書館は社会変化に対応し、新たな技術を取り入れてサービスにつなげていく努力をし続けなければいけない。今後、吹田市立図書館の課題と考えるのは、①E レファレンスの強化。図書館に来なくても、質問を受付し、情報提供する。②YA サービス。新しい技術に慣れている若い世代にツイッターやミクシィなどでイベント告知などの情報発信を行う。③幼稚園・保育園・学校との連携。無料デジタル教材を収集して、教育の立場での支援もできるのではないか。学生ボランティアの活用で放課後スクールなどもできる。電子化された辞典なども取り入れていく。④来館困難な市民へのサービス。ネット技術で、図書館に来なくてもサービスを楽しむ。ITを活用して、図書館としてやれることがあるはず。導入を考えてほしい。

委員) 方向性としては良いと考えるが、障がい者や高齢者など、サービスの受け手がツールを持っていない。それをどう乗り越えるか。

議長) IT で解決できないところはある。そこは従来通り、来館者へのサービスでこたえていく。今までのサービスをなくすわけではなく、補うための手段。

委員) 若い人はITができるが、50歳前後の女性で働いていない人などはパソコンに触れてこなかった人達。公民館で講座を開くと好評で、クラブもできた。積極的に参加していく動きで、方向性としては良い。学校での居場所づくりでの学生ボランティア活用だが、すでに吹田市では地域の応援を得て取り組みが行われているが、本を通じての支援はまだ不十分。学校とのつながりを含めた支援を図書館が行うべき。

委員) 社会と共に変化、などの言葉が何度も使われているが、その社会を動かしてい

るのは誰なのか。経済界が動かしている面もあるのでは。社会と共に、に危険を感じる。機器に振り回されない人間作りの場、そのための図書館という根本を忘れないようにしたい。電子化が進んでも本はなくならないだろう。

事務局) 方向性としては考えていくべきものと思います。たとえば、図書館の情報発信はホームページで行っていますが、ブックスタートもツイッターなどで若いお母さんにアピールできるのかもしれないです。いろいろなツールを使って図書館をアピールしていく必要があると認識しています。

委員) 将来は一般社会もそうなるのだろうが、人と人とのつながりを大切にしながらやっていくべきだと思う。

議長) たとえば、ブクログなどで本についての情報交換ができる、また、これまでは図書館に出向いて読書会に参加していたような事が、ネット上でもできるようになる。これまでの図書館活動をなくすのではなく、できていなかった部分をITで解決できるのでは。

委員) 幼稚園や学校との連携や学習という面ではデジタルは、有効だと思う。ただ、幼児の心の成長のためには、やはりデジタルでは無理。生の声で、生のぬくもりで、というのが大事。有効だと思う。

委員) 子どももインターネットで調べものをしたりしているが、何かを掘り下げて調べるときには、ITだけでは足りず、図書館で調べたりしている。若者もITだけに頼っているわけではないと思う。

議長) 近年大学図書館の本も、どんどん電子化されている。そういう部分も、どう考えるかが課題となってくる。

## 4 その他

### (1) (仮称) 千里丘図書館整備事業について

事務局) 5月に入札予定でしたが、設計の見直しをすることになりました。図書館サービスに係らない、建築的上の装飾等を見直して工事費の削減を目指すという事で、壁面を若干簡素にして約1500万円の削減を図るべく検討しました。9月議会で工事承認案件として議決をもらい、約1年かけて建設の予定です。

### (2)平成23年(2011年)図書館利用アンケート(満足度調査)について

事務局) 7月20日から8月12日の間に、来館者の満足度調査を実施しました。回答総数は893件です。学生の回答が多くみられました。利用頻度は月1回から週1回が80%でした。定期的に利用していただいているようです。スタッフの接遇については、「やや満足」「満足」が60%以上でした。今後も努力したいと思います。図書館施設については、実際に利用している人へのアンケート調査のため、満足度は高くなっています。広さについて、狭いところほど不満が高

く、拡充の必要を感じます。マナーについては、音に対して敏感な利用者が多いと感じました。図書館サービスの設問については、項目が多かったかと思えます。読みたい本がないという不満の割合が高い事から、予算の確保と選書内容が課題だと感じています。予約の多い本と、予約はないが内容から蔵書のすそ野を広げることに繋がる本の両方の購入バランスについて、皆さんのご意見もいただきながら考えていきます。別の話ですが、調査によると、分野ごとの購入比率と、分野ごとの貸出比率とは、ほぼ一致しています。つまり、ご要望に沿った形で購入しているつもりという事ですが、数字も公表しながら進めていきたいと考えています。AV 資料は予算が増えないため、有効活用の方法を考えていかなければと思います。予約本の提供スピードについては不満もみられました。今年1月からの予約冊数・貸出期間の変更で、提供スピードの向上を図ってきた取組みの報告をしたいと考えています。催しやホームページについては、まだまだ知られていないところがあるようです。開館日や開館時間については不満もあるようですが、総合的には「やや満足」「満足」が71.4%でございました。全体を通じて、自由記入欄がなく、具体的な不満をお書きいただけなかったのではないかと、反省しています。

議長) ご意見ご質問を受け付けます。

委員) 学生が多かったようだが、夏休みの実施が良かったのでは。何が不満なのか、自由記入欄がなく、具体的に書けなかったのでは。次回は反省を生かしてほしい。

委員) 自由記入欄がほしいと思った。

事務局) 項目が多かったということはないでしょうか。

委員) そうは思わない。

事務局) 今後、毎年実施して経年変化を見られるように考えています。

委員) カウンターサービスについてですが、貸出返却で並ぶことがあるが、窓口の職員の座り方が、利用者に相対しているわけではなく、パソコンを操作して利用の方が、どうして良いか分からない事がある。パソコンの位置などに工夫したら良いのではないかと気になった。

事務局) 指導を徹底いたします。

委員) 図書館の中で調べものはできないのか。

事務局) 辞書事典類を使う場合は、各フロアに閲覧机があります。中央図書館には自習室があります。

委員) 千里図書館では自習が禁止になったと聞いたが、子どもたちの学習環境として図書館を活用できないのか。

事務局) 図書館の資料を使っての調べものについては使ってもらっています。図書館の資料を使わない席貸しはお断りしています。どこの館もだんだん手狭になり、

いすや机が不足している状況はあるかもしれません。

議 長) アンケートについて。図書館利用者以外の市民の声をどう今後集めていけばいいかが気になる。登録率が下がっていることもあり、ヘビーユーザーは満足していても、それ以外の市民が図書館は必要ないと考えてしまうのがこわいと思う。

### (3)追加報告

事務局) 現況報告をさせていただきます。千里図書館の移設にあたって、選書や備品の選定などに専従する職員の補充のため、アルバイト予算を9月議会の補正予算であげる予定です。図書館協議会は現在4期目で、任期が11月で終わります。現在、市民公募委員を2名募集しています。11月末まで各団体に委嘱候補者の推薦のお願いをする予定です。新市長の行政の維新プロジェクトの中で、吹田市全体の事業の見直しをすることになっています。今年度は100事業が対象になっており、アウトソーシングの検討も13事業あります。その中には図書館の窓口業務委託も含まれています。今後のアウトソーシング計画の提出を求められており、部内で協議を行っております。

委 員) 維新プロジェクトには外部委員も入るのか。

事務局) 吹田の財政は貯金を崩したり借金をしたりしている状況です。財政状況の健全化を目指して、仕事の見直しが行われており、外部委員も入って会議が行われたりしています。100事業に上がったからすべてが廃止されるというわけではないと考えますが、図書館は、現在3館を窓口等一部業務委託をしまして、拡大は避けられないと考えます。指定管理者制度の導入は考えていません。

### (4)次回日程について

事務局) 11月の水曜日で開催させていただきます。学校の先生方がお忙しいようなので、調整させていただきます。

### (5)その他

委 員) ほんのおしらせは図書館窓口でしかもらえないのか。冊子が出るのと、ネットの新着紹介とどちらが早いのか、「ほんのおしらせ」に載っているのを見た時点で予約がたくさんついているなど、利用者とトラブルがおこらないか。

事務局) 冊子の編集の時間もあるので、ネットの方が情報は早いと思う。「1Q84」など、予約がたいへん多くなると見込まれるものは、前もって受け付けてトラブルを回避しています。

議 長) 他にご質問等がなければ終了させていただきます。長時間ありがとうございました。